



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」
清流の国 輝くギフジョ 支援プロジェクト

英語専門外の先生にもできる協働学習！ 英語コミュニケーション能力 向上セミナー

日時

2020年2月13日(木)
13:30~16:00

場所

岐阜薬科大学本部
大学院講義室

講師

津田 ひろみ 氏

受講料
無料

多様性が重視される現代社会において、協働学習はしだいに注目されてきています。学習者の主体性を重視し、誰もが自由に、そして平等に発信できる協働学習では学び合いによって視野が広がるだけでなく、考えが深まり新しい気づきが生まれることも期待されます。本セミナーではまず協働学習の基本理念を学び、次に実践例を通して単なるグループ活動とは異なる協働学習を取り入れた指導のコツをご紹介します。最後に、協働学習の一端を英語で体験してみましょう。

対象

岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社
の教員、研究職など(大学院生も可。年齢・分野問いません。)

応募方法

参加希望者は、氏名、所属、役職(学生の場合は学年)を明記してメールでお申し込みください。

宛先: diversity@gifu-pu.ac.jp

〆切: 2020年1月31日(金) 必着



問い合わせ先



岐阜薬科大学ダイバーシティ推進室 〒501-1196 岐阜市大学西1丁目25-4
TEL: 058-230-8100 FAX: 058-230-8105 E-mail: diversity@gifu-pu.ac.jp

英語専門外の先生にもできる協働学習! 英語コミュニケーション能力向上セミナー

《概要》

第1部 協働的な学びの基本理念と枠組み

1. 協働学習の基本理念
学びにおける3つの出会いと対話とは?
2. 協働学習のキーワード
主体的に学ぶ、思考を深める、多様性の受容
3. 協働学習の効果
それぞれの段階で期待される効果とは?
4. 協働学習の進め方
まず始めに大切なこと、そして最後のまとめ

第2部 協働学習を取り入れた英語指導のコツ

1. 英語が得意でない生徒を巻き込もう!
中学校のリーディング授業実践の紹介
2. どんな学生も活躍できる場を!
保育専攻、美術専攻、スポーツ推薦の学生たちの活躍の紹介
3. 協働学習の輪をもっと広げよう!
大学生と小学生の協働的な学びの紹介

第3部 協働的な学びの体験

第4部 協働的な学びについての振り返りとQ&A

講師紹介



つだ
津田 ひろみ

お茶の水女子大学英文科卒業。チェース・マンハッタン銀行東京支店にクレジット・アナリストとして4年間勤務。3人の子育て中は自宅で子ども英語教室を開校。40歳で附属中学校の教壇に立つ。以降15年に渡り非常勤講師として一般生徒と帰国生徒の英語授業を担当。並行して、附属小学校で7年、同高等学校で3年、英語授業を担当。48歳で立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科に入学し修士課程および博士課程を修了。異文化コミュニケーション学博士。50歳で保育系短期大学の非常勤講師となり、その後、国立、私立大学を経て、現在は明治大学国際日本学部、実践女子大学で一般英語および英語科教育法、小学校英語を担当している。専門分野は第二言語習得、自律学習、協働学習、CLILなど。主な著書は『学習者の自律をめざす協働学習:中学校英語授業における実践と分析』(ひつじ書房、2013)、中学校補助テキスト『Crown Plus: English Series Level 1』(三省堂、2006)、大学用テキスト『Critical Reading through Collaborative Learning』(ひつじ書房、2019)など。